

【マルチメディア文化論】

— パソコンの特徴と機能 —

2009年度 第4回

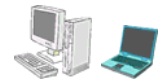
太田 信宏

1. パソコンとは

「パソコン」の正式名称は何？

パーソナルコンピュータ
(Personal Computer)

→ 個人用コンピュータ



「パソコン」をアメリカでは何と呼ぶ？ → PC

「Computer」を日本語で言うと？ → 電子計算機

「コンピュータ」は何をする機械か？

2. パソコンの特徴 ①汎用性

汎用はんよう ←→ 専用
(多目的) (目的が1つ)

身の回りにある機械 → 多くは専用機械



①汎用性(続き)

パソコンのできることを書き出してみると・・・

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 文書作成(ワープロ) | 10. はぎき作成 |
| 2. インターネット | 11. テレビ機能 |
| 3. メール | 12. ビデオ録画・編集 |
| 4. お絵かき | 13. 家計簿 |
| 5. ゲーム | 14. 百科事典・辞書 |
| 6. デジカメ写真編集 | 15. 作曲・演奏 |
| 7. CD/DVDプレーヤー | 16. プログラム作成 |
| 8. 電話機能 | : |
| 9. FAX | ↓ |

多目的

②高速性 (パソコンの特徴)

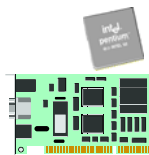
計算や処理を**超高速**で行うことができる。

CPU (中央処理装置)の性能向上
Central Processing Unit

→ パソコン内部にある電子部品

<CPUの例>

Core2 Duo (インテル社)
Pentium (インテル社)
アスロン (AMD社) など



パソコン紹介 (ヨドバシカメラ <http://www.yodobashi.com/>)

②高速性(続き)

CPUの性能例

Core2 Duo 2.5GHz (ギガヘルツ) のパソコン

- ・ 1ヘルツ(Hz)とは・・・1秒間に1回の計算ができる能力
- ・ 1メガヘルツ(MHz)とは・・・1秒間に100万回の "
- ・ 1ギガヘルツ(GHz)とは・・・1秒間に10億回の "

つまり、2.5ギガヘルツでは・・・

1秒間に2.5×10億回の計算が可能
(25 × 1,000,000,000)

すなわち 1秒間に25億回の計算ができることになる

③記憶性 (パソコンの特徴)

大量データの記憶 (保存) が可能

記憶できる大きさ (容量) は媒体によって異なる

(例) ディスク1枚の容量

- ・ F D → 1.4MB (メガバイト)
- ・ C D → 650~700MB
- ・ D V D → 5,000~17,000MB



容量を比較すると **FD < CD < DVD**

- ・ 記憶の単位=バイト (byte)
- 半角1文字=1バイト 全角1文字=2バイト

③記憶性 (続き)

ディスクの記憶容量の比較

FD 1枚 → 1.4メガバイト=1.4×100万バイト
=140万文字(半角で)
= **70万文字**(全角で)

CD 1枚 → 650MB (FD 約500枚分)

→ **FD1枚に何ページ入るか?**

A4用紙: 35文字 × 20行 = 700文字
よって
FD1枚=700,000÷700=1,000ページ
(日記を毎日つけても約3年分ある)

④正確性 (パソコンの特徴)

決められた手順 (プログラム) を忠実に実行

Programとは

プログラム、番組表、予定表、進行表

↓
作業の内容、手順、実行順序などを示したもの

プログラム=ソフトウェア (ほぼ同義語)

実行を何度繰り返しても、常に同じ結果になる

- 指定を間違えるとどうなる?
- 常識は通用するか?

④正確性 (続き)

【誤操作の例】

ワープロで作成した長編小説の120ページ目を、
1枚だけ印刷したい。

ページ番号
部数

正

120
1

誤

1
120

→ 表紙だけが120枚も、印刷されてしまう

… 常識が通用しない

3. パソコンとゲーム機の比較



パソコン



ゲーム機

	パソコン	ゲーム機
キーボード	標準キーボード	専用キー タッチペン
ゲーム操作	標準キーで代用	専用キーで 操作しやすい
汎用性 拡張性	高い	低い

【汎用性の比較】



パソコン



携帯電話



ゲーム機

高い ←-----→ 低い

4. コンピュータは何をする機械か?

(今日の結論)

マルチメディア情報を処理する機械である